20008 20008

(4000F)

許

昭和 50年 11月21 日

特許牙技艺型 1. 発明の名称

> PDM ヤツナレ サアル 条成マイカ心臓部品の製造法

2. 强 叨 老

住所 神奈川県校浜市保土ケ谷区月見台 221番地

氏名 岡 沢 苗 直

3. 特許出頭人

住 所 "是某都干代田区九の内2丁84番19

代表者 岡 沢 治 彦

倒路

4.代 堰 人

住 所 〒105 東京都港区西新設1丁目2番9号 三升物産館内 電話(591)0261番

Que son

1.名別の名称

果似マイカ色素部品の表産法

14号作時水の範囲

取避かなに対象分解して砂液した線皮マイカ箔の清掃体を紹介に切断し、 超片を加熱理象させた 後所名の四位型を引いて所型の形のを観別品に立 形することを存成とする表収マイカを観別品の収 みた。

3. 電明の評職な政明

Cの 兄明 互集 母々イカ 密維 形品 の 吸途法 に 始 ず のもの で ら の。

まマイカを読成するかまたは未認成で化学的、 機能的方法で敬祖片に利根分別し、水中に均等は 分散懸立させて通常砂板広によりマイカ裕を吸流 すっことは知られてかり、このようにして作つた マイカ裕に関係を含むさせそして加熱逆化して絶 戦体として形成される。このような 絶縁 体は 絶縁 形が物えば 本知像の 整理子片、 絶縁 由子板、 絶縁 フッンマーとして広く 使用されている。 19 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 . 52 - 64639

33公開日 昭52.(1977) 5.28

②特顧昭 50-139200

四出頭日 昭/10(197/1/2/

審查請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

6790 57

.P+

2,

66

1 Int. C1?

織別記号

またこのようなマイカ連線体を追談ワンシャー のような平面状の連線部品に形成することはでき

そこでこの希明の目的は、マイカドが均一に分 布した所具の形状の絶験物品を簡単かつ安価に設 返する方法を提供することである。

すれ形成することは低めて必要であつた。

この目的を建议するため、このお別による方法 にないてに、まず、生マイカは近郊でより利益かまたは 来域ので化学的または歌像的方法により利益分数 しての個片にされる。こうして形成したマイカの 政府は水中に分数させて簡潔状にされ、沙遊の では返マイカ窓の個別位に形成される。その近こ のマイカ窓に乗らな私に化陸砲をフニスを金布で ひマイカ窓に乗らなれば化性を必ブレブレグに通う な平してを使した米収マイカ窓のブレブレグに通う な乎段を用いて船片状に切断されて血形材料が更 強される。

この退成マイカ政形案材は常生により所定の電気 気色機能品の 血内に入れられ、所図の形状の必要: 即品に工形される。

井関環52-64699(と,

定を行なづた。

	美微钒	シリカ 又は ガラスせんい基材	
进 盘	1.83-1.91.	1.87~2.02	
曲灯强度 40/4	8.16~9.43	7.5 ~7.6	

代級人	伽	P3	æ	*()
代组人	٨	*	æ	35
代寶人	R	蚜	*	度()
人星力	A	æ	暫	=)

このように、この発明によれば、製成マイカ度または色砂製成マイカ版を単に打ち抜いて成形するのではなく、製成マイカ版を細片に切断し、加助存限した政所なの数に入れて成形するので、均一なま気的特性をもつほ々の形状のの表形品を容易に辿ることができる。

近つてこの発明によっ万法は均一の電気的特性 なもつほ々の支払世級が品を提供できる有所なも のである。

以下この発明の突破例について説明する。

「仮皮球収マイカ箱ののよい屋×3000×1000 及さの材料に対し東至シリコーン YR3224(不 環発分605、一般性)をトルゴンで漫当に希釈 して虚布し、約40℃で3~3分を吸して、密熱 は405(食な)のマイカブリブレグを待た。これを秘密が周がユンンダーにでは血巾×3 へよ^{m/}1に観断した成形材を使って、20形成皮 130℃止力30^{16/16}でJIS K 69/1 による曲 げ氏線庁4×10×20mをつくり、100℃の 低温槽で1時間のポストキュアを行なった機、類

5. 添附香類の目録

(1) 明	郮	杏	1 26
(2) B		75	_
V21-101-		Part .	
(3) 22	任	秋	1 通
(A) IST 5	R (30	杰	1 和

6. 附記以外の発照者。代理人

(1) 张明 石

(2)代 班 人

住所 東京都港区西新橋1丁目2番9号 三井物変館内 金丸将野事西所内

